

各 位

会 社 名 株式会社エー・ピーカンパニー
 代 表 者 名 代表取締役社長 米 山 久
 (コード番号：3175 東証一部)
 問 合 せ 先 取締役管理本部長 中 井 努
 (TEL. 03-6435-8440)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 15 日に公表した業績予想について、下記の通り修正いたします。

1. 業績予想の修正について

平成 30 年 3 月期 通期 連結業績予想の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	27,500	650	800	380	52 円 76 銭
今回修正予想 (B)	25,700	320	530	△300	△41 円 65 銭
増減額 (B - A)	△1,800	△330	△270	△680	
増減率	△6.5%	△50.7%	△33.7%	—	
(ご参考) 前期連結実績 (平成 29 年 3 月期 通期)	25,966	313	527	124	17 円 25 銭

2. 修正の理由

主力の国内外食事業につきましては、既存店売上高の減収は続いたものの、様々な経営施策の結果、店舗利益率は回復し、営業利益・経常利益ともに概ね計画通りとなりました。また、前期において赤字だった弁当事業が黒字転換するなど、国内事業は総じて順調に推移しました。一方、海外事業の売上が下期に悪化し、通期の海外子会社全体での営業損失が 300 百万円程度となる見込みのため、通期の連結業績につきましては、営業利益・経常利益ともに平成 29 年 5 月 15 日時点の予想を下回る見込みです。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記海外子会社の業績悪化や、平成 30 年 2 月 13 日の第 3 四半期決算時に計上済のシンガポール店舗等の減損損失に加えて、グループ全体で保守的な会計処理を進めることにした結果、減損損失が 600 百万円程度に増加しました。

引き続き、「日本の食のあるべき姿を追求する」というグループ共通のミッションのもと、生販直結モデルを一層進化させ、「塚田農場」ブランド店舗を中心とした既存店舗の収益力向上を図ってまいります。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後予想数値と異なる場合があります。

以上